



凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
令和6年度
第9号(1月号)



仕事のABC

校長 椿 智絵

新年あけましておめでとうございます。去年は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、私事にはなりますが、大晦日の夜から発熱し、38度越えて元旦を迎え、元旦早々休日診療の病院にお世話になっていました。事前に電話で確認をし、その時に「病院がとっても混んでいて、少し長く待ちますよ。」と言われていたので覚悟はしていましたが、元旦に診察をしている病院は限られているようで、表示板に示されていた待ち時間はなんと「5時間」。周りを見てみると皆さんも発熱しているのかとてもつらそうにしている様子。待合室でひたすら待ち、やっと自分の番がやってきて検査・診察をしてもらい、幸いにも感染症にはかかりませんでした。せっかくのお正月でしたが、ほとんどを布団の中で過ごすことになってしまい、残念でしたが、元旦早々から、診察をしてくれる病院があり、薬を提供してくれる薬局があり、本当にありがたいなと思った今年の始まりでした。

さて、本校の校訓は「凡事徹底」で、「何でもないような当たり前のことを徹底的に行う」という意味です。この「当たり前に行う」ということが入っている言葉を知りました。それは、「仕事のABC」という言葉です。

「仕事のABC」とは、次の3つの頭文字を取ったものです。

A= 当たり前のことを
B= バカにせず
C= ちゃんとやる



これは、仕事ができる人が必ず大切にしていることのように、「仕事ができる人」は必ずこの「仕事のABC」を大切にしているのだそうです。

当たり前のこととは、例えば「時間を守る」「挨拶をきちんとする」「整理整頓する」などが挙げられており、何事においても、そうした「当たり前」のことをちゃんとやるのが何より大切なのだと書いてありました。

元プロ野球選手のイチロー選手の名言の中に、「特別なことをするために特別なことをするのは。特別なことをするために普段どりの当たり前のことをする。」とあります。一流のスポーツ選手ほど基本練習をおろそかにせず、「仕事のABC」を守っているのです。

さらに、この「仕事のABC」には続きがあり、DとEを加えるのだそうです。

A= 当たり前のことを
B= バカにせず
C= ちゃんとやる
D= できるだけ
E= 笑顔で



まずは、本校の校訓「凡事徹底」、「当たり前のことを当たり前に行う」をしっかり行ってほしいと思います。人間関係では、「おはよう」や「ありがとう」など挨拶をきちんとすること。そして生活面では、早寝早起きをする、手洗い・うがいをするなどです。このような簡単なことを「バカにせず、ちゃんとやる」ことが大切です。それも「できるだけ、笑顔で」。でも、その当たり前のことを当たり前にするのが、「手拔の誘惑」もあり、案外難しいのです。

二中生には、手抜きをしたくなる誘惑に負けず、凡事徹底を心掛けてほしいものです。

《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒	(知)
心豊かで、思いやりのある生徒	(徳)
たくましく、健やかな生徒	(体)

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：<https://daini-j-warabi.edumap.jp>
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp